

令和7年7月30日公表

農 業 物 価 統 計 調 査 令和6年 農業物価指数 —令和2年基準—

農産物価格指数（総合価格指数）は前年に比べ8.0%上昇
農業生産資材価格指数（総合価格指数）は前年に比べ0.6%低下

【調査結果の概要】

1 農産物価格指数（令和2年＝100）

令和6年の農産物価格指数（総合価格指数（以下「総合」という。））は117.3で、前年に比べ8.0%上昇した。

これは、鶏卵等の価格が低下したものの、米、野菜等の価格が上昇したことによる。

2 農業生産資材価格指数（令和2年＝100）

令和6年の農業生産資材価格指数（総合）は120.6で、前年に比べ0.6%低下した。

これは、農機具等の価格が上昇したものの、飼料、肥料等の価格が低下したことによる。

表1 令和6年 農業物価指数

令和2年＝100

区 分	価格指数	対前年 騰落率	区 分	価格指数	対前年 騰落率
		%			%
農 産 物 （ 総 合 ）	117.3	8.0	農 業 生 産 資 材 （ 総 合 ）	120.6	△ 0.6
う ち 米	114.5	26.9	う ち 肥 料	136.9	△ 6.9
野 菜	127.7	12.7	飼 料	140.5	△ 3.6
果 実	124.9	18.6	諸 材 料	116.9	4.1
鶏 卵	139.2	△ 22.2	農 機 具	108.3	3.1

注： 調査は令和6年1月から12月まで行い、価格指数は令和6年平均価格を令和2年平均価格で除したものである。

3 農業交易条件指数

農業交易条件指数は97.3となり、前年に比べ8.7%上昇した。

表2 農業交易条件指数の推移

令和2年＝100

区 分	令和元年	2	3	4	5	6	対前年 騰落率 (令和6年/ 令和5年)
							%
農 産 物 価 格 指 数 （ 総 合 ） ①	98.5	100.0	100.8	102.2	108.6	117.3	8.0
農 業 生 産 資 材 価 格 指 数 （ 総 合 ） ②	100.1	100.0	106.7	116.6	121.3	120.6	△ 0.6
農 業 交 易 条 件 指 数 ① ÷ ② × 100	98.4	100.0	94.5	87.7	89.5	97.3	8.7

注： 農業交易条件指数とは、生産者の収益環境の変化を示す指標として指数化したものであり、農業交易条件指数の上昇は生産者の経営環境の改善を意味する。

◎ 累年データ

図1 農業物価指数の推移(令和2年=100)

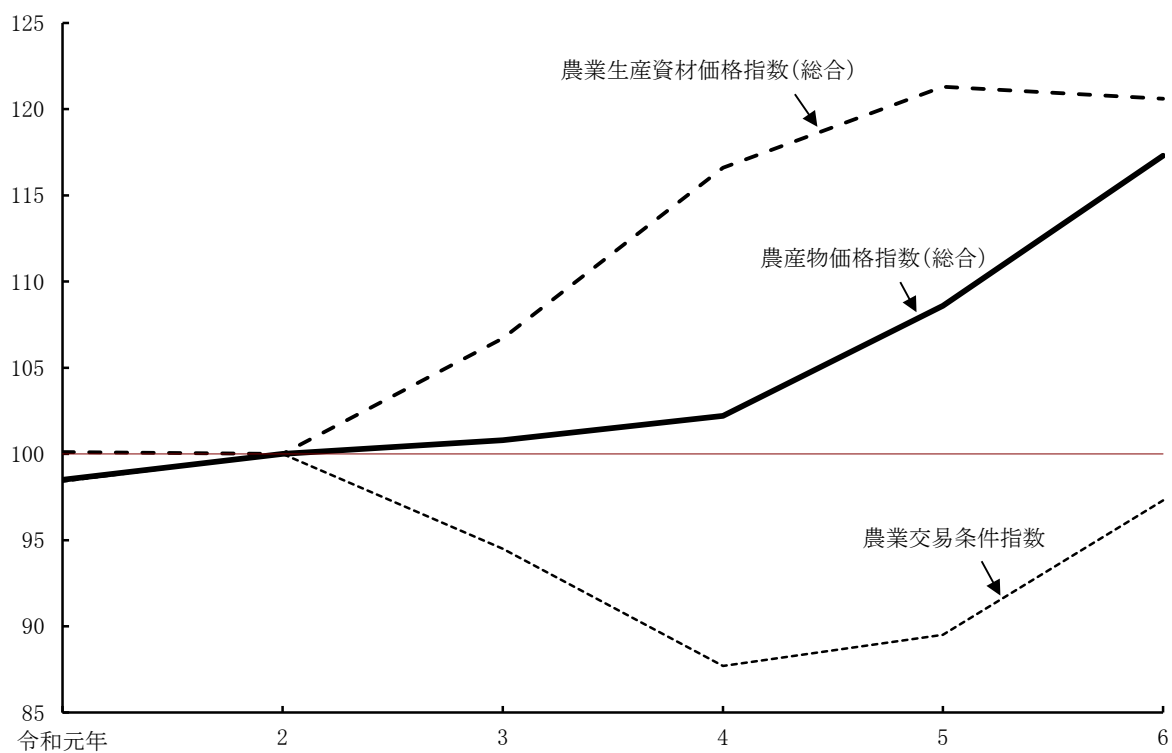


図2 農産物価格指数(総合)の月別推移(令和2年=100)

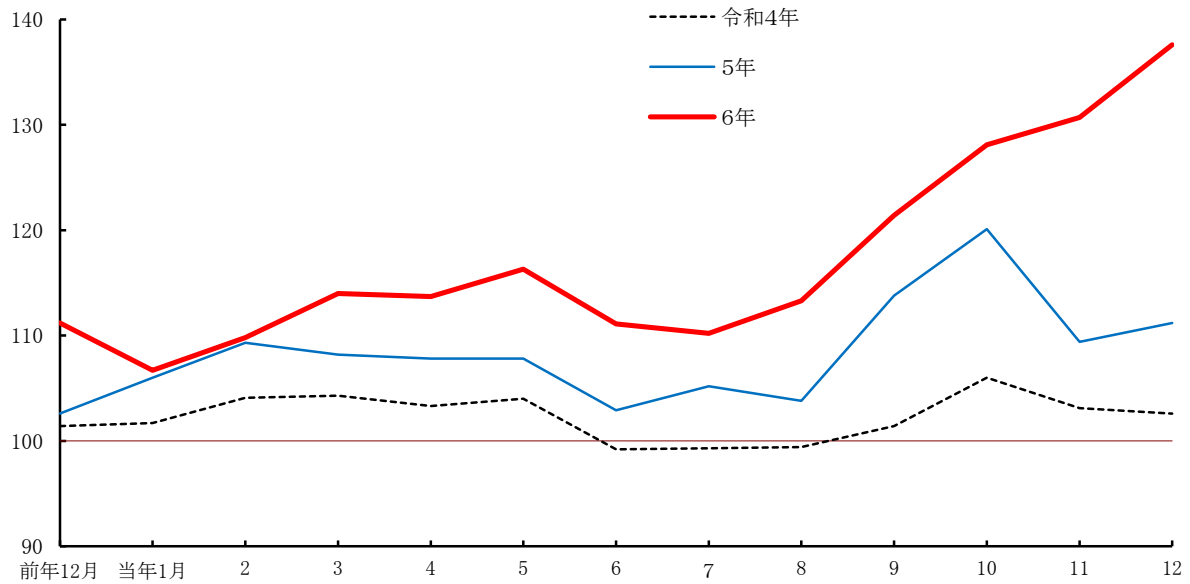


図3 主な農産物の月別価格指数の推移(令和2年=100)

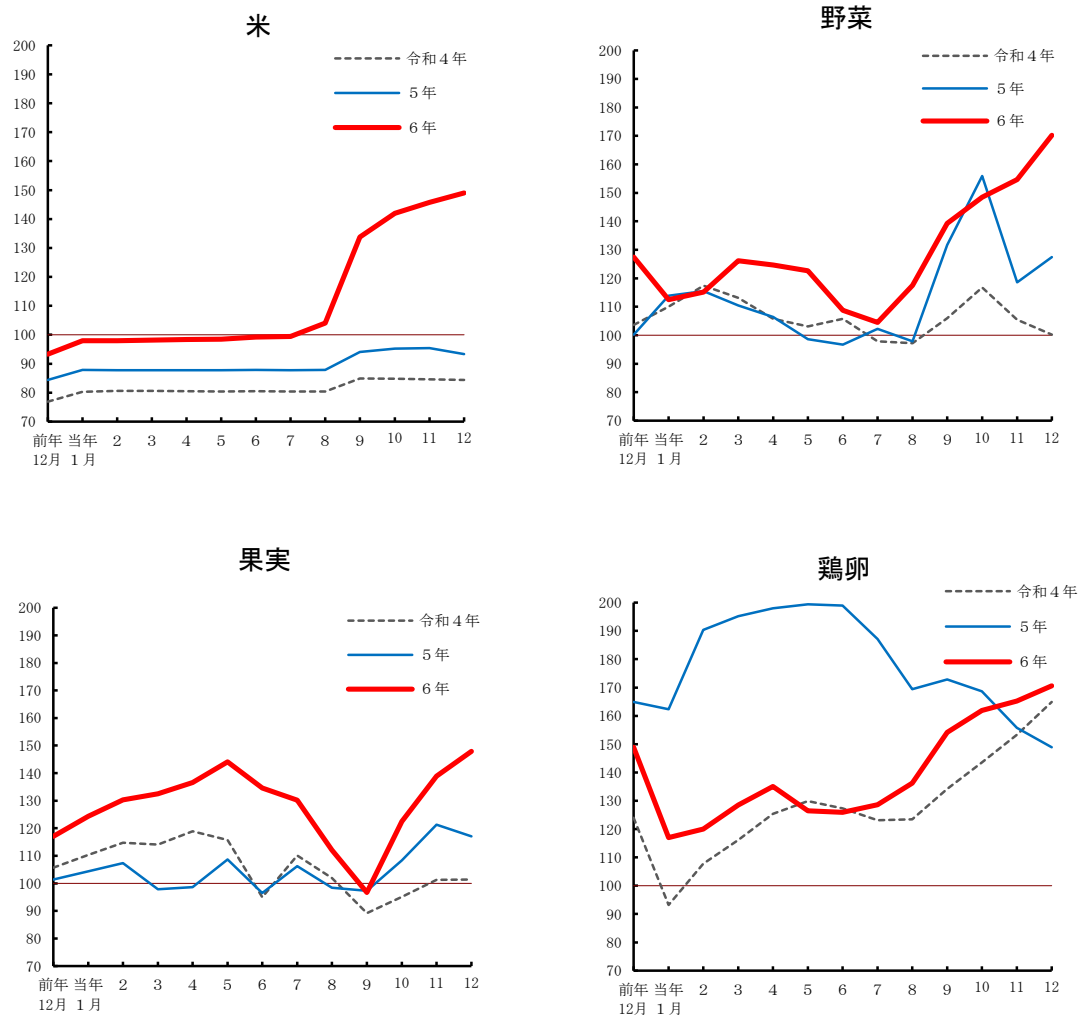


図4 農業生産資材価格指数(総合)の月別推移(令和2年=100)

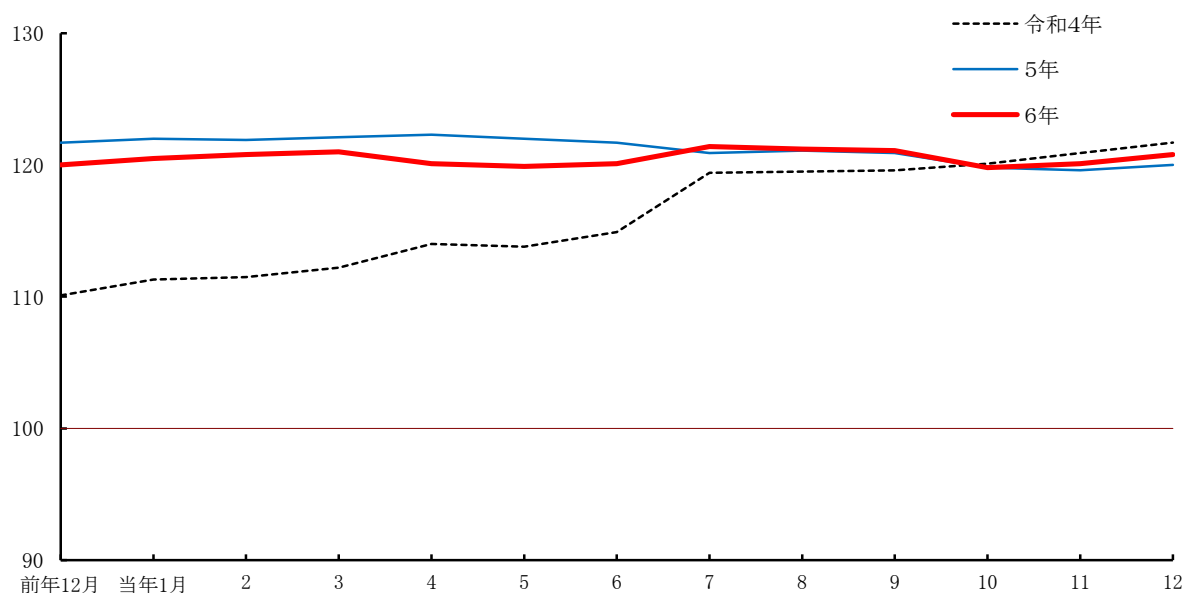
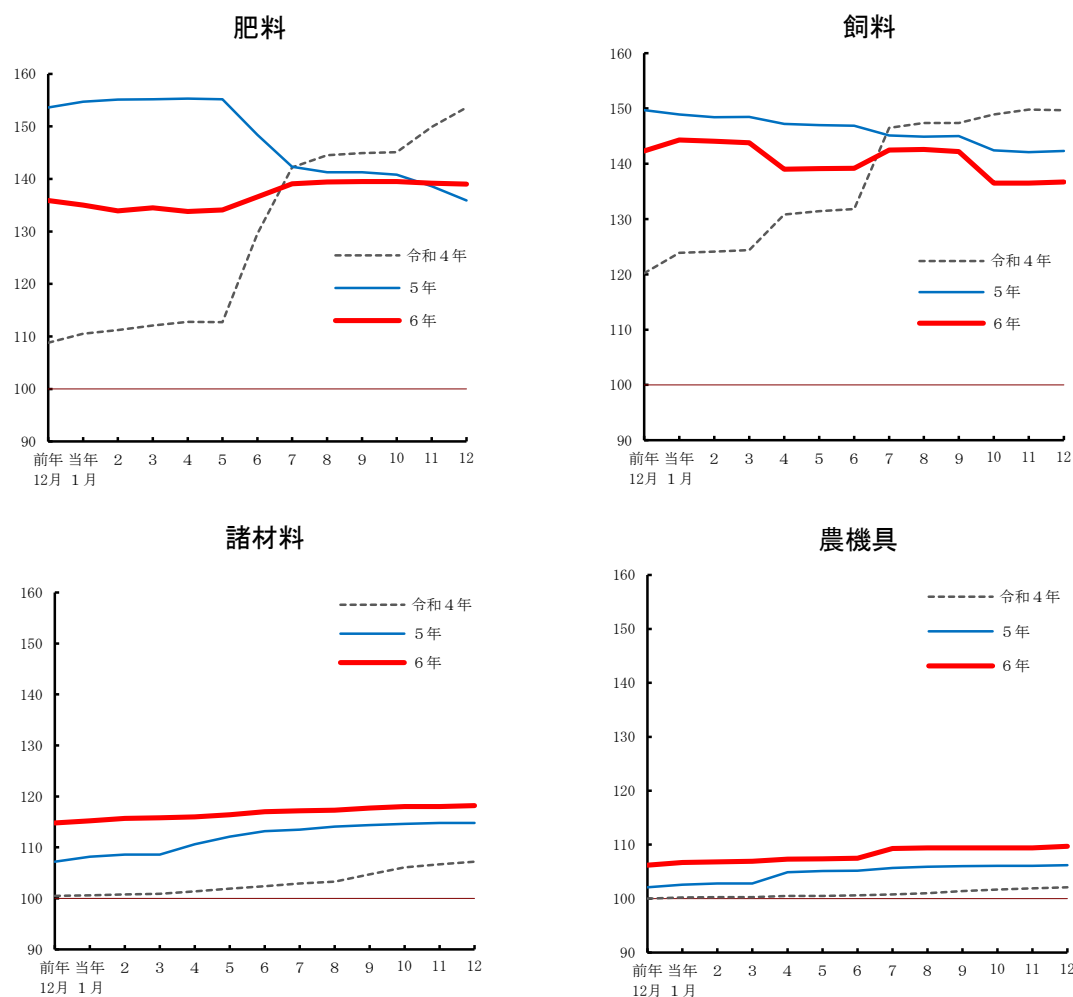


図5 主な農業生産資材の月別価格指数の推移(令和2年=100)



【調査結果】

1 農産物価格指数

農産物価格指数（総合）は117.3となり、前年に比べ8.0%上昇した。

類別の指数の主な動向は、次のとおりである。

- (1) 米は114.5で前年に比べ26.9%上昇した（年間を通じて上昇。）。
- (2) 野菜は127.7で前年に比べ12.7%上昇した（きゅうり、キャベツ等の価格が上昇。）。
- (3) 果実は124.9で前年に比べ18.6%上昇した（りんご（ふじ）、みかん（早生温州）等の価格が上昇。）。
- (4) 鶏卵は139.2で前年に比べ22.2%低下した（特に年前半に価格が低下。）。

表3 農産物の年次別価格指数及び対前年騰落率

令和2年=100

区 分	年次別価格指数						対前年騰落率						寄与度
	令和元年	2	3	4	5	6	令和2年	3	4	5	6		
農産物（総合）	98.5	100.0	100.8	102.2	108.6	117.3	% 1.5	% 0.8	% 1.4	% 6.3	% 8.0	%	
うち米	101.7	100.0	88.6	82.0	90.2	114.5	△ 1.7	△11.4	△ 7.4	10.0	26.9	3.52	
麦	96.1	100.0	106.1	118.4	106.9	100.9	4.1	6.1	11.6	△ 9.7	△ 5.6	△ 0.04	
雑穀	156.1	100.0	126.0	161.6	193.3	192.0	△35.9	26.0	28.3	19.6	△ 0.7	0.00	
豆	98.3	100.0	99.8	105.0	104.3	100.3	1.7	△ 0.2	5.2	△ 0.7	△ 3.8	△ 0.03	
い も	82.2	100.0	113.9	103.7	99.8	106.5	21.7	13.9	△ 9.0	△ 3.8	6.7	0.17	
野 菜	95.9	100.0	96.7	106.2	113.3	127.7	4.3	△ 3.3	9.8	6.7	12.7	3.27	
果 実	87.5	100.0	100.9	101.4	105.3	124.9	14.3	0.9	0.5	3.8	18.6	1.74	
工芸農作物	104.7	100.0	113.4	113.1	111.7	115.4	△ 4.5	13.4	△ 0.3	△ 1.2	3.3	0.10	
花 き	107.9	100.0	107.8	117.2	119.1	126.1	△ 7.3	7.8	8.7	1.6	5.9	0.23	
畜 産 物	102.2	100.0	105.6	105.3	113.4	110.6	△ 2.2	5.6	△ 0.3	7.7	△ 2.5	△ 1.01	
うち鶏 卵	98.6	100.0	125.9	128.7	178.9	139.2	1.4	25.9	2.2	39.0	△22.2	△ 2.05	
生 乳	99.5	100.0	99.4	99.9	109.9	117.0	0.5	△ 0.6	0.5	10.0	6.5	0.63	
肉 畜	99.8	100.0	102.5	106.7	108.6	111.9	0.2	2.5	4.1	1.8	3.0	0.52	
子 畜	112.8	100.0	105.4	88.7	75.8	75.3	△11.3	5.4	△15.8	△14.5	△ 0.7	△ 0.03	

注：寄与度は、令和6年の農産物価格指数（総合）の対前年騰落率に対するものである。

2 農業生産資材価格指数

農業生産資材価格指数（総合）は120.6となり、前年に比べ0.6%低下した。
類別の指数の主な動向は、次のとおりである。

- (1) 肥料は136.9で前年に比べ6.9%低下した（複合肥料等の価格が低下。）。
- (2) 飼料は140.5で前年に比べ3.6%低下した（配合飼料等の価格が低下。）。
- (3) 諸材料は116.9で前年に比べ4.1%上昇した（野菜用段ボール等の価格が上昇。）。
- (4) 農機具は108.3で前年に比べ3.1%上昇した（コンバイン、乗用トラクタ(25ps)等の価格が上昇。）。

表4 農業生産資材の年次別価格指数及び対前年騰落率

区 分	年次別価格指数						対前年騰落率					寄与度
	令和元年	2	3	4	5	6	令和2年	3	4	5	6	
							%	%	%	%	%	
農業生産資材（総合）	100.1	100.0	106.7	116.6	121.3	120.6	△ 0.1	6.7	9.3	4.0	△ 0.6	
うち種苗及び苗木	97.4	100.0	101.5	104.0	106.8	109.6	2.7	1.5	2.5	2.7	2.6	0.10
畜産用動物	111.5	100.0	105.9	96.2	88.3	86.8	△ 10.3	5.9	△ 9.2	△ 8.2	△ 1.7	△ 0.14
肥 料	99.2	100.0	102.7	130.8	147.0	136.9	0.8	2.7	27.4	12.4	△ 6.9	△ 0.65
飼 料	99.4	100.0	115.6	138.0	145.7	140.5	0.6	15.6	19.4	5.6	△ 3.6	△ 0.98
農業薬剤	98.2	100.0	100.2	102.9	112.9	114.8	1.8	0.2	2.7	9.7	1.7	0.13
諸 材 料	96.9	100.0	100.1	103.3	112.3	116.9	3.2	0.1	3.2	8.7	4.1	0.23
光熱動力	107.8	100.0	112.3	127.3	126.9	130.0	△ 7.2	12.3	13.4	△ 0.3	2.4	0.22
農 機 具	98.4	100.0	99.9	100.9	105.0	108.3	1.6	△ 0.1	1.0	4.1	3.1	0.36
自動車・同関係料金	98.1	100.0	100.4	101.0	102.2	104.2	1.9	0.4	0.6	1.2	2.0	0.05
建築資材	98.4	100.0	113.0	133.3	137.2	137.0	1.6	13.0	18.0	2.9	△ 0.1	△ 0.01
農用被服	96.8	100.0	100.3	103.0	110.0	114.0	3.3	0.3	2.7	6.8	3.6	0.02
賃借料及び料金	97.9	100.0	100.8	102.3	105.0	107.8	2.1	0.8	1.5	2.6	2.7	0.14

注：1 寄与度は、令和6年の農業生産資材価格指数（総合）の対前年騰落率に対するものである。

2 諸材料は、野菜・果実用段ボール、農業用ビニール、梱包用樹脂製品等である。

【統計表、調査の概要】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&lid=000001462568>

【調査結果の主な利活用】

- ・ 農畜産物の生産者に支払う補給金等の算定のための資料
- ・ 食料自給率（生産額ベース）の算定のための資料
- ・ 農業総産出額を算出するための資料
- ・ 農業・食料関連産業の経済計算における農業生産額算出のための資料
- ・ 国民経済計算（内閣府）の実質値を求める際のデフレーター算出のための資料に活用

【ホームページ掲載案内】

- ・ 本資料は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「農家の所得や生産コスト、農業産出額など」の「農業物価統計調査」で御覧いただけます。

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noubukka/#y>

- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

経営・構造統計課 分析班

電 話:(代表) 03-3502-8111 内線3633

(直通) 03-3502-5653

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 統計広報推進班

電 話:(代表) 03-3502-8111 内線3589

(直通) 03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



SAFF

データの力で。

農林水産統計
Statistics of Agriculture,
Forestry and Fisheries